

# 天理教一れつ会の扶育について

—天理教語学院 日本語科 志願者のために—

一れつ会とは、真柱様の親心と教内大勢の方々の真実に支えられる扶育財団であり、単に学資を支給するだけの育英団体ではない。

## ■創立

二代真柱様の道の子弟子女育成におかけくださる深く篤い親心をもとに、昭和3年(1928)、ご結婚のお祝い金のすべてを基金として創立された。

## ■趣旨

布教ひとすじに通る親が、子どもの教育に心配することなく布教に専念できるように、また、その子どもらも徳や才能を伸ばし、親同様に陽気ぐらし世界建設のようぼくに育ってもらうため創設された。

## ■運営

一れつ会は、趣旨に賛同する方々の喜びごと悲しみごとに際しての志をはじめ、大勢の方々の真実のご寄付および教会本部から多額の回付金を頂いて運営している。

上記、一れつ会の思いを受けて、天理教語学院日本語科に就学する道の信仰者およびその子弟に対しても扶育の道が開かれている。なお、扶育出願については直属教会長の保証ならびに海外部長の推薦を必要としている。

---

### **扶育出願者の心得**

- ・一れつ会扶育の趣旨をよく承知し、将来ようぼくとしての活躍を目指して努力すること。
- ・おさづけの理を拝戴していない者は、在学中におさづけの理を拝戴すること。

### **保護者、育成担当者の心得**

- ・一れつ会扶育の趣旨ならびに扶育出願者の心得をよく承知し、子弟子女育成に努める心を固めて出願すること。
- ・扶育を頂くことが当たり前という考え方は、一れつ会扶育の趣旨には合わないので、十分に承知をしてから出願すること。
- ・二代真柱様はじめ、歴代真柱様の篤い親心をしっかりと子弟子女に伝えること。

## ■卒業後の進路について

卒業後の進路については、海外部や直属教会ともよく相談し、一定の期間を定めて、現地拠点や直属教会、所属教会などでの伏せ込みや、海外部や少年会、学生担当委員会等、おちばにおいて伏せ込むことが望ましい。

## ■扶育の種類について

扶育号数は、以下の2種類とする。

I号扶育：校納金、生活諸費

II号扶育：校納金、寄宿費、生活諸費

尚、扶育の審査に関しては、天理教語学院日本語科の出願書類を参考にする。

### ※校納金、寄宿費、生活諸費の金額について

校納金 年間 390,000円（入学金 30,000円、授業料 360,000円）

寄宿費 年間 396,000円（月額 33,000円×12）

生活諸費 年間 60,000円（月額 5,000円×12）

## ■出願期日

9月11日～9月28日

## ■願書の申請および提出先

海外部（窓口は天理教語学院事務所）

## ■提出書類（所定データファイルに入力後、印刷し、書面3枚およびデータを提出）

天理教語学院 日本語科扶育願 （1p）

扶育出願にあたっての思い （2p）

推薦保証書 （3p）

※（1p）および（3p）は、印刷後に直属教会長の署名捺印（職印）が必要。

## ■扶育内定の発表

10月下旬、一れつ会より直属教会長に、書面をもって通知する。

天理教海外部

## 【扶育願書入力上の注意】

- ・願書の各欄は漏れ落ちのないように入力すること。
- ・虚偽の内容があった場合は、扶育決定後であっても取り消される。
- ・ファイルに入力後、各拠点長（海外部担当地域課長）の承認と記名入力を得てから印刷し、直属教会長が署名捺印の上、書面とデータを共に提出すること。

### 1 ページ

〔所属教会長〕

- ・所属教会長が親、兄弟である場合は、最も近い上級教会長がデータファイルに記名入力すること。
- ・最も近い上級教会が直属教会の場合は、保護者が教会長の立場でもデータファイルに記名入力すること。
- ・伝道庁、出張所、連絡所などの置かれている地域からの出願者は、事前に拠点長の承認（データファイルへの記名入力）を得ること。これに該当しない地域の場合は、天理教海外部担当地域課長の承認（データファイルへの記名入力）を得ること。
- ・データファイルへの入力が完了後に印刷し、紙面に直属教会長が署名捺印すること。

### 2 ページ

〔扶育出願にあたっての思い〕

- ・必ず、①は本人、②は保護者、③は育成担当者が、それぞれデータファイルへ入力すること。

### 3 ページ

〔推薦保証書〕

- ・海外部長の署名捺印欄は空欄のまま提出すること。
- ・データファイルへの入力が完了後に印刷し、紙面に直属教会長が署名捺印すること。